

パラマウント通信 mini

2023年11月

パラカヌー競技編

次世代選手発掘プログラム会場配布号



Paracanoe Team Japan 新体制がスタート

4月15日（土）16日（日）、東京都北区のナショナルトレーニングセンターでの合宿にて今年度がスタートしました。3月26日のパラカヌー海外派遣選手選考会の成績をもとに今年度の日本代表選手11名（A、B、C）および次世代育成指定選手3名が決定。今年の国際大会は5月ワールドカップ（ハンガリー・セゲド）8月（ドイツ・デュースブルク）そして10月アジアパラ競技会（中国・杭州）の3大会です。

5月ワールドカップ 8月世界選手権に挑みました！

5月のワールドカップには、今井航一、高木裕太、加藤隆典、富岡忠幸、小松沙季、宮嶋志帆、加治良美の7選手とスタッフ4名を派遣。5月にもかかわらず、大会が始まったとたん最高気温12℃という真冬並みになったセゲド。現地でダウンジャケットを購入したり、持って行った衣類をあるだけ重ね着したりして期間中を過ごしました。寒さに加え、雨も降り、思ったパフォーマンスが出来なかった選手たち。帰国後、8月の世界選手権に向けて、地元でトレーニングを積みました。

世界選手権には高木裕太、辰己博実、加藤隆典、瀬立モニカ、宮嶋志帆、加治良美、小松沙季の7選手とスタッフ4名で出発しました。関根徹哉は出国前に、辰己選手もドイツ到着後に、それぞれ体調不



良を訴え、残念ながら棄権することになってしまいましたが、他の6選手は、自己ベストやシーズンベストを出すことが出来ました。またこの大会では、各国からの出場選手も多く、何年ぶりかで他国との交流も見られることも。各選手とも、来年のパリパラリンピックに向け、国際大会のイメージを掴んで帰国しました。

令和5年度日本代表選手 (ABC)

(氏名の後ろは 種目KLカヤック・

VLヴァー それぞれのクラスを1~3で表記 / カッコ内は所属先)

高木裕太 KL1・VL2 (インフィニオンテクノロジーズジャパン株式会社)

小松沙季 VL2 (株式会社電通デジタル)

辰己博実 KL2・VL3 (テス・エンジニアリング株式会社)

今井航一 KL3・VL3 (株式会社コロブラ)

加藤隆典 VL2 (岐阜県カヌー協会パラカヌー部)

瀬立モニカ WKL1 (パラマウントベッド株式会社/
江東区カヌー協会)

宮嶋志帆 WKL2・WVL3 (神奈川県カヌー協会)

加治良美 WKL3 (NTP名古屋トヨペット株式会社)

富岡忠幸 KL2 (岐阜県カヌー協会パラカヌー部)

小山 真 KL3 (埼玉県カヌー協会)

関根徹哉 VL1 (ダンヒルジャパン / 江東区カヌー協会)



P.UNITED 始動！

2023年8月21日、9つのパラスポーツ競技団体による共同プロジェクトが発足しました。東京パラリンピックを契機に深まったパラスポーツ競技団体間の絆。パラスポーツの新たな価値創出を目指し、障がい者と健常者が当たり前に共に過ごせる社会づくりを実践していきます。

キャッチコピーは
「これからって時が、いちばん面白い。」

9団体と一緒にパラスポーツを通じて共生社会を考えてくださるパートナー企業を募集しています。

P.UNITED公式WEBサイト
<https://punitied.org/>

パラカヌー選手と一緒に普及活動がスタート！

毎年開催している全国200m競漕（石川県小松市）では、選手たちも参加しパラカヌーのレースを一般参加の小学生から大人たちの皆さんに間近に観てもらったり、パラカヌーTeamでドラゴンレースに参戦するなどしてきました。2023年は3月6日伊佐市での体験会を皮切りに、選手たちと協働の普及イベントが本格的にスタートしました。

パラマウントチャレンジカヌーin伊佐

3月6日

この体験会は、今年10月に特別国体のカヌー競技が行われる伊佐市菱刈カヌー競技場（鹿児島県）での開催となりました。3月下旬の海外派遣選手選考会に向けて、現地で練習中の選手たちも参加。午前中の体験会では、水上に出て、体験者を見守ったり、漕ぎ方を教えたりしてくれていました。お昼には、競技場近くの旅館の皆さん炊き出しのカレーがふるまわれ、地元の福祉事業所の出店も。黒豆茶、焼き芋、サツマイモ入りのおしるこ、焼き菓子、Tシャツなどを販売。



午後には、パラカヌー選手たちのトークショー、福祉事業所の皆さんによるダンスなどで大盛況。選手たちも、カレーやお菓子をほお張ったり、気さくに写真撮影に応じるなど、普段の競技場で見せる顔とは違いリラックスした様子でした。

参加者から次はいつ？と聞かれるほど、みんなで大いに楽しんだ一日。事前申し込み不要、当日受付のイベントでどの程度来場いただけるのかと案じていましたが、参加者・スタッフ含め150人ほどの大きなイベントとなりました。



カヌーチャレンジ競漕 in 府中湖

7月14日

現在、パラカヌー競技は下肢障害者が対象です。水泳や陸上、卓球などの知的障害選手が活躍する大会スペシャルオリンピックにカヌーの競技はありません。知的障害の人がカヌーに乗るきっかけ作り、国内大会の機会を作ってはどうか、そんな意見が協会の普及委員会で出ました。やるなら公式コースのある競技場で作ってみたいと、香川県を拠点としている今井航一選手、水泳教室を通じて知的障害のお子さんと接する機会の多い今井礼子コーチに相談。府中湖でぜひ体験会とトライアルとしてミニ競漕会を開催しましょう、と企画がスタート。開催費用として香取慎吾アートチャリティプロジェクト寄付金を使わせていただくことになりました。



砂利の多い場所を車いすでも移動できるように、コンパネを敷いて栈橋へのアプローチ作り



かき氷が大人気♡



当日は30℃を超える暑さ。カヌーに乗って水の上に出ると案外涼しく感じるようで、夢中でカヌーを楽しむ参加者たち。飲み物を冷やし、氷を用意し、テント下で休憩をとりながらの熱中症対策。お昼には地元から麺類、洋菓子、コーヒーなどのキッチンカー4台が出店。

午後は100mのミニ競漕会。まず今井航一選手のデモンストレーション。その速さと格好良さに、目を輝かせる子どもたち。



競技が初めての参加者も多く、一人につき、地元カヌー協会のメンバーが後ろから着いて見守り、真っ直ぐにゴールを目指せるよう声かけをします。障害者の参加だけでなく、急きょ保護者のレースを開催することに。乗ったことないからどうしよう、と言いつつ参戦してくれたお母さんたち。ビックリするような速さでゴール！子どもたちの声援で一番盛り上がったレースとなりました。参加者全員が100mを完漕する素晴らしい大会になりました。



一般社団法人日本障害者カヌー協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F

<https://www.Japan-paracha.org/>



※協賛企業募集中!!